

新商品のご紹介

天井部の複雑な形状の洗浄も可能に! カミオン グレイト CMCN8200

- 22対のワイドセンサーを搭載し、多様な形状に対応
- 業界初のドライブスルー方式で1Way運用を可能に(オプション)



足腰の負担軽減・作業時間短縮を実現 小型タイヤリフター ATL-60G(手動式) 特許取得済み

- フローティング機構と回転フォーク搭載で穴位置合わせが簡単
- タイヤローテーション時にタイヤを床置きせず作業がおこなえる、タイヤパレットやローテーション台車も用意(オプション)

適応タイヤ径 560~810mm
(乗用車~SUV車)



タイヤパレット(オプション)



※ATL-60EG(電動式)もございます

ポータブル電源搭載で、移動可能 CO/HCポータブルキャリア COHC-PC

- 12か月点検時など完成検査場以外の場所での測定に最適



工具の運搬や作業台として便利 アクティブステーション SKX2303F

- 移動式でコンパクトに収納可能
- 車検入庫時のお客様の荷物置きにも



自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS



CHARGE

新商品のご紹介 P.12

カミオン グレイト CMCN8200

小型タイヤリフター ATL-60G(手動式)

CO/HCポータブルキャリア COHC-PC

アクティブステーション SKX2303F

2026
Summer
VOL.
112

USER REPORT 小型 P.02

株式会社ホンダモビリティ中部 Honda Cars北陸 犀川観音店



SDGsの取り組みを強化している店舗のご紹介

トヨタカローラ鹿児島株式会社
オレンジテラス東開
(POLDER Terrace) P.10



USER REPORT 大型 P.06

茨城いすゞ自動車株式会社 下館サービスセンター



TOPICS

「省力化投資促進プラン」を徹底活用する設備投資術 税制優遇と補助金制度のご紹介

人手不足が深刻化する中、自動車整備業は国の「省力化投資促進プラン」の重点支援対象業種に指定され、補助金や金融支援が受けやすい状況にあります。

■税制優遇

中小企業向けの税制支援である**中小企業経営強化税制**は事業計画を運輸局に申請し、認定を受けることで、設備投資の費用を税金面で優遇する支援策です。実際の税制優遇策は即時償却と税額控除を選択することが可能で、自社の経営状況に合わせてチョイスできることが特長です。

■補助金

税制支援とは異なり、国や自治体から直接的にお金支給される制度が補助金です。申請から採択(合格)まで審査が行われますが、補助額が高額であり、投資コストの大幅な負担軽減に繋がります。中小企業を対象に、設備投資

対象設備要件

対象設備	設備金額	機械装置 (測定機能を持たない整備機器)	器具備品 (測定機能を持つ整備機器)
	販売開始年度	10年以内	6年以内
その他要件		・生産性が年平均1%以上向上する設備 ・中古資産・貸付資産でないこと 等	

を目的とする補助金は**省力化投資補助金**や**ものづくり補助金(再編予定)**など近年多く案内されています。その他、地方独自で展開されている補助金もございます。経済産業省、中小企業庁が運営する公式サイト「**ミラサポplus**」からは都道府県ごとの補助金・助成金情報が検索可能です。

当社では複雑な書類作成、申請のフォロー体制を整えるコンサルタントにお取り次ぎができますので、お気軽にご相談ください。
設備投資による業務効率化を進める好機です。生産性向上と持続的な事業運営につなげましょう。

ミラサポ
サイトは
こちら▶



バックナンバーは「WEB CHARGE」に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください!



ANZEN 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
安全自動車株式會社 TEL(03) 5441-3412 FAX(03) 5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(011) 511-6241(代)
釧路営業所 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(0154) 24-0161(代)
仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019) 637-8711(代)
盛岡営業所 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019) 637-8711(代)
関東支店 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029) 355-2725
水戸営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029) 355-2725
新潟営業所 新潟市中央区芝浦4-16-25 TEL(025) 382-5815
東京支店 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043) 284-2600(代)
千葉営業所 千葉市中央区金山5-12-3 TEL(043) 284-2600(代)
名古屋支店 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076) 248-0499(代)
金沢営業所 大津市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(076) 248-0499(代)
大阪支店 大阪市東淀川区津3-7-7 TEL(078) 265-0375(代)
神戸営業所 大阪市東淀川区津3-7-7 TEL(082) 832-3630(代)
広島営業所 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099) 213-0762(代)
福岡支店 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099) 213-0762(代)
南九州営業所 松本市大村383-11 TEL(0263) 45-2181(代)

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。
ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

- 発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
- ANZEN NEWS CHARGE 112号 (2026年7月発行)
- ※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶
ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT

ANZEN
安全自動車株式會社



株式会社ホンダモビリティ中部 Honda Cars北陸 犀川観音堂店

安全・効率を重視し、誰もが働きやすく活躍できる職場へ
新店舗は次世代のホンダディーラー像を創造する、街のしあわせターミナル



店舗情報

株式会社ホンダモビリティ中部
Honda Cars北陸 犀川観音堂店
石川県金沢市観音堂町ホ23番1
TEL：076-232-8768
従業員：19名
(サービスはメカニック7名と
整備要員3名の計10名)
敷地面積：
6,757.24平方メートル



今回お話を伺った方



エリアサービス
推進課
北陸エリア課長
出戸 和彦 様



店長
中越 充康 様



工場長
中村 洋平 様

株式会社ホンダモビリティ中部は、愛知、静岡、北陸エリアをカバーし、合計128店舗を抱える、中部地区最大級のホンダディーラーです。その一角を担うHonda Cars 北陸は富山、石川、福井各県にまたがり28店舗を展開しています。

同社では金沢市内の人口空洞化、そして近年人口流入の多い金沢市西部の海側環状エリアに着目し、犀川大豆田店を移設・新築した犀川観音堂店を4月11日にグランドオープンしました。

洗練されたデザインとウッド調を主体とするあたたかみのある店舗を実現するとともに、ショールームの座席数増設、フリードリンクとWi-Fiなどの導入により、「従来のお客様からは『入店しやすくなり快適』と評価をいただいています」(中越店長)との手ごたえをつかむ一方、新規ユーザーの拡大では、「弊社の管理顧客ではなかったホンダユーザーの方が多く来店されるようになりました」と思わぬ効果もあったといいます。

サービス工場は検査ラインを含めて5ストールを設備。同社が最重視する「正確かつ迅速な整備」を実現するサービス工場を実現しました。検査ラインはフルスペックのテスターを導入するとともに、通り抜けが可能なスルーレーンとしました。「検査が終わってもバックできない状況は生産性を損なうとともに、安全面でもリスクを高めます。工場全体で動線を見直し、作業性と生産性、安全面を優先しました」(出戸課長)。

一方、「人手が足りない部分はハードや仕組みで補うことができます。弊社は最新の環境や設備を整えることで、スタッフの誰もが活躍できる職場の実現を目指しています」と中越店長が語るように、リフトをはじめとした各種整備機器も作業者の負担軽減のテーマが貫かれています。

「タイヤ搬送台車」の導入は夏冬でタイヤの履き替えが多く、ホイールとともに預かりが生じる同店にとって、劇的な作業改善となりました。「作業場内の運搬だけでなく、お客様が持参したタイヤを駐車場から搬送する際も大活躍しています」と中村工場長。一方、「一番気に入っています」と語るのが、特注の“多目的収納キャビネット”です。「収納力が高く、整理整頓が進み、工具を探す時間が短縮されました」と正確かつ迅速な整備をまさに象徴するとともに作業場内の美観向上にも一役買っています。

金沢エリアにおいては、新車およびホンダ認定中古車を販売する店舗は複数ありますが、新車販売拠点に中古車展示を併設した形態は「U-Selectコーナー店」と呼ばれます。当店はホンダカーズ北陸において、金沢市内で初めてのU-Selectコーナー店となり、サービスの品質を最大限に追求するなど、最上級のカーライフの提供に磨きをかけました。同社が掲げる店舗ビジョン「この街のしあわせターミナル」に相応しい旗艦店として存在感を高めています。

ショールーム



▲交通量が増加する海側環状線のロードサイドに位置する店舗。入口が広くなり、「入りやすい」と好評



▲約40台のホンダ認定中古車を在庫し、ニーズを幅広く喚起



▲ホンダモビリティ中部公式キャラクターのモビびょんがお出迎え



▲シンプルでラグジュアリーな商談スペース



▲ウッド調のショールームとオープンな受付。座席数を増設し、シームレスなラウンジ構造でゆとりある空間を演出



▲フリードリンクとフリーWi-Fiの導入で待ち時間をさらに快適に

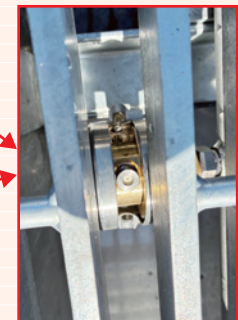
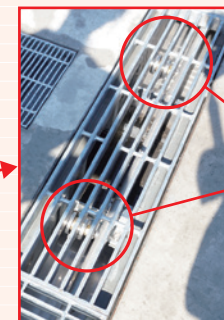


▲大人もゆったりくつろげる設計の、上質で愛らしいキッズスペース。定期的におもちゃなどを交換・メンテナンスされるサービスを利用し、衛生・安全面にも配慮



▲キッチンも完備したスタッフの休憩室兼食堂

サービス工場



◀今夏に予定する二期工事で門型洗車機の設置を予定。降雪地域に不可欠な下部洗浄機は回転ノズルの回転方向を縦型に変えた特注タイプ。グレーチングにノズル開口部分を設けないため、作業車の安全性を高めるとともにノズルの故障を予防

図面でわかる！
ここがポイント！

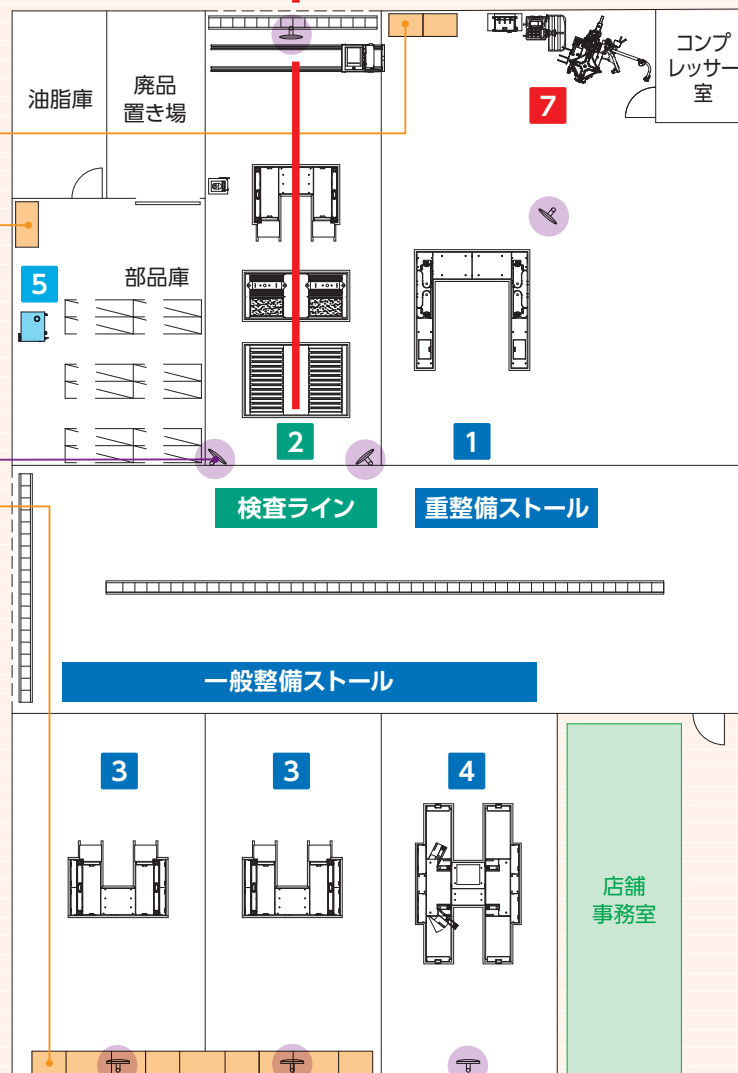
正確性と作業スピード、そして生産性と安全性の全方位を最適化し、
最大化したハイスペックサービス工場

スルーレーン方式を採用

6 多目的収納
キャビネット



8 点検ミラー

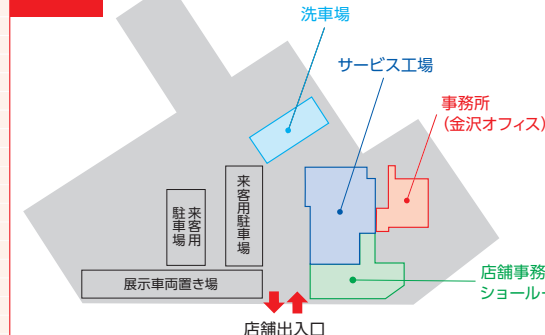


- 1 アヴェンタスリフト(ワイドタイプ) (ASC35WU)
 - 2 検査ライン(ラインマスター+カラー画像処理方式
全自動ヘッドライトテスター+ハイブリッドテスター
※横ブレ防止ガイドローラー付き+多軸式フリーローラー)
+ファンタスIIリフト (BSC32KUJVL)
 - 3 ファンタスIIリフト(収納BOX付) (BSC32KUJVL)
 - 4 マルチリフト(収納BOX付) (MUS40U)
 - 5 ウルトラファインバブル仕様高温水洗浄機
(AHW-1115S-MUFB)
 - 6 多目的収納キャビネット
 - 7 タイヤチェンジャー(PIT ATHLETE II LL25+AL390+SR69)、
ホイールバランス(TRIM BP-67A)+タイヤリフト(BL-02B)
 - 8 点検ミラー×7
- その他 タイヤ搬送台車(ATP-217A2)×2台、
エンジンリフター(AEL-500)



このページに掲載している
機器のカタログをご覧ください

配置図



営業担当者のココがポイント！

工場づくりに携わることができ、大変嬉しく思います。
犀川観音堂店はストール間のスペースを広く確保し、車両同士の接触防止や
スポットクーラーの設置など、メカニックに配慮した設計となっています。
車検機器にはラインマスターを採用し、通り抜け可能なレイアウトに
よりスムーズな車両動線を実現しています。
また、各種リフトを導入し幅広い車
両に対応できるほか、収納キャビ
ネットや省力化機器の採用により、
作業効率向上と負荷軽減にもつな
がっています。今後もアフターサー
ビスを含め、精一杯対応いたします。



左：金沢営業所 堀内 右：工場長 中村様



▲トータル車検ラインシステム“ラインマスター”を採用した検査ライン。地域柄、
4WDの入庫が多いため、多軸フリーローラーは必須。なお、検査ラインは安全
性を第一に通り抜けが可能



▲“全自動ヘッドライトテス
ター”HLI-2023を採用



▲冬季の整備作業において
足回りに固まった雪を一掃する作業が欠かせない
豪雪地域では“ウルトラ
ファインバブル仕様高温
温水洗浄機”が威力を発揮



▲作業者の安全性と測定精度の向上のため、
固定式+横ブレ防止ガイドローラーを導入



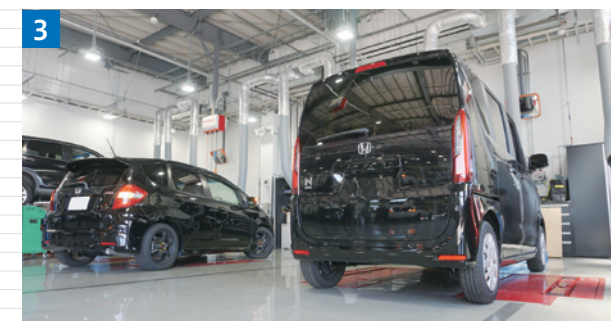
▲油脂庫(右)と廃品置き場。安全性を考慮
し、工場外側からもアクセスが可能



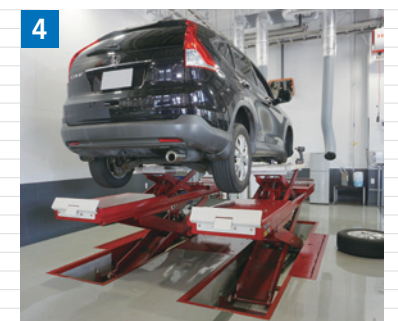
▲E
Vの車種構成が多いホンダでは駆動用
バッテリーの脱着作業に最適な“アヴェ
ンタスリフト”(3.5mワイドタイプ)が
不可欠



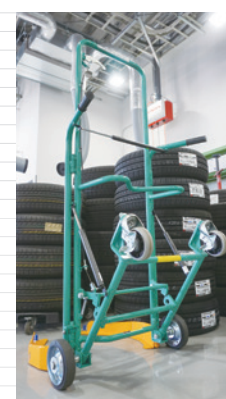
▲“自動シートシャッター”を採用。
空調機能を最大化



▲“ファンタスIIリフト”は2基納入。軽自動車からSUV、ミニバン
まで幅広い車種が入庫するホンダディーラー特有の入庫に対応



▲ドライブオン“マルチリフト”(4tタイプ)
は主にクイック整備で活躍



▲北陸地域では、夏冬タイヤの交換が頻繁
に行われるため、タイヤ搬送台車は必
需品。整備スタッフの作業負担軽減に寄与



▲オーダーメイドの“多目的収納キャビ
ネット”を納入。5S促進で生産性を大
幅に向上





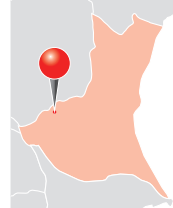
茨城いすゞ自動車株式会社 下館サービスセンター

あらゆる車両に対応しつつわずかな故障も見逃さない体制を構築した最新の整備工場



店舗情報

茨城いすゞ自動車株式会社
下館サービスセンター
茨城県筑西市玉戸1012-4
TEL：0296-28-3131
従業員：31名
(メカニック13名)
敷地面積：
13,843.02平方メートル



今回お話を伺った方



第三事業部
下館サービスセンター長
岡本 明 様

茨城いすゞ自動車の下館サービスセンター（以下、下館SC）は、1970年1月に開設された、同社の基幹サービス拠点の一つです。半世紀以上にわたり茨城県県西エリアの商用車整備を支えてきましたが、「建物の老朽化が進んだうえ、お店の前を通る国道50号線の拡幅工事が重なった」（岡本センター長）こともあり、全面リニューアルを決断しました。

加えて、2017年2月の圏央道茨城區間全線開通を契機に、沿線地域に物流施設の進出が加速。こうした物流需要の拡大を背景に、2023年7月3日に坂東SC（坂東市。詳細はCHARGE VOL.101に掲載。今号P.8の二次元コードよりご覧いただけます。）を新規オープンしました。さらに2026年4月6日、下館SCをリニューアルオープン。石下SC（常総市）、古河SC（古河市）を含む茨城県県西エリア4拠点体制を構築して、大型商用車を中心とした整備・点検需要への対応力を一層強化しています。

新たな下館SCは、同社のミッションである「『運ぶ』を支え地域社会を笑顔にする」の実現を目指すとともに、安心・安全な職場づくりと「健康経営」の理念に基づき、従業員が安心して働ける快適な職場環境を整備し、生産性向上と持続的な企業成長の実現を目指し、建設が進められました。

その施設計画では、経営陣と現場従業員が一体となって検討を進め、各拠点の知見も共有しながら、設備レイアウトや作業動線を最適化。最新の整備ニーズに応える設備を備え、作業効率や安全性を高次元で両立した、最新鋭の大型車整備工場になりました。

その整備ストールには、あらゆる入庫車両に対応しつつ、メカニックの作業負担を軽減すべく、様々なリフトが導入されています。このうち3基の“4柱式ツインパワーリフト”は、トラクターとトレーラーを連結状態で整備できるうえ、繁忙期は中型トラックを前後に2台並べて作業することも可能な、高い汎用性を備えます。

「この運用を実際に坂東サービスセンターで見たことが導入の決め手になった」と、岡本センター長は振り返ります。

“3分割フロアリフト”は、「トランスミッションやディファレンシャルの脱着、スタビライザーブッシュの打ち替えなど重整備の際、交換用の新品部品を前側のフロアにあらかじめ置いてからフロア下に潜って作業できるので、車両をリフトアップすることなく安全かつ効率的な作業が可能となります。「メカニックが安定した立ち姿勢で効率良く作業でき、油脂類の交換やグリスアップなどクイック整備にも活用できる」と岡本センター長は話します。

“2柱式ツインパワーリフト”は能力12tの中・小型車向け、能力30tの大型車向けを各5基導入し、主に車検整備で活用。さらに社用車整備用として乗用車向けの“アルネオリフト”も1基配備しています。

洗車ホースレールを両側の壁面に備えた屋内洗車場には、“下部洗浄装置”と“サイド洗浄ユニット”を導入し、泥が下回りに付着するダンプトラックの入庫が多いことから、下回りに付着した泥や汚れを効率良く除去できる環境を整備しました。これにより、「車検の際には足回りのグリスを落としつつ、パワートレインからの油漏れを確認しやすくなるので、不具合の早期発見につながっている」と岡本センター長は話します。

また、省力化機器として大きな役割を果たしているのが、工場全域からダストや廃油を集中吸引する「MVシステム」です。工場内3か所の廃油ステーションにより、全12ストールの広大な工場でも移動時間を短縮。複数の車検整備が同時進行する場合でも、各リールのダストホースを使って効率よく吸引でき、作業時間の短縮と工場内の美観維持に貢献しています。

年間入庫台数6400台を目標に掲げる下館SCは、茨城県県西エリアの物流を支える整備拠点として、さらなる発展を目指しています。

事務所



◀▲受付カウンターには仕切りを設けて各顧客のプライバシーに配慮（左）。窓側にはテーブル席も用意（右）



▲全体が見渡せて明るく開放感のあるオフィス。敷地内各所を確認できるモニターを配備



▲女性用（左）と男性用（右）、待合室を分けて設置。いずれも窓が大きく取られ、広々とした空間でリラックスして過ごせる



◀メカニックの休憩室には、横になってくつろげる畳敷きのスペースも用意。シャワールームも2部屋完備



▲社員に温かい食事を提供したいという想いから、キッチン付きの食堂を完備

サービス工場



◀各ストールには空調を完備したほか出入口にシャッターを設け、冷暖房効率をアップ



◀立ち姿勢のままホイール脱着可能な“大型車用タッペラーZ”を積極導入し作業負担軽減

図面でわかる！
ここがポイント！

整備の「省力化」「高効率」「安全対策」を
最大限実現した大規模工場



転落防止システム アクロバット
（懸垂型ワイヤータイプ）

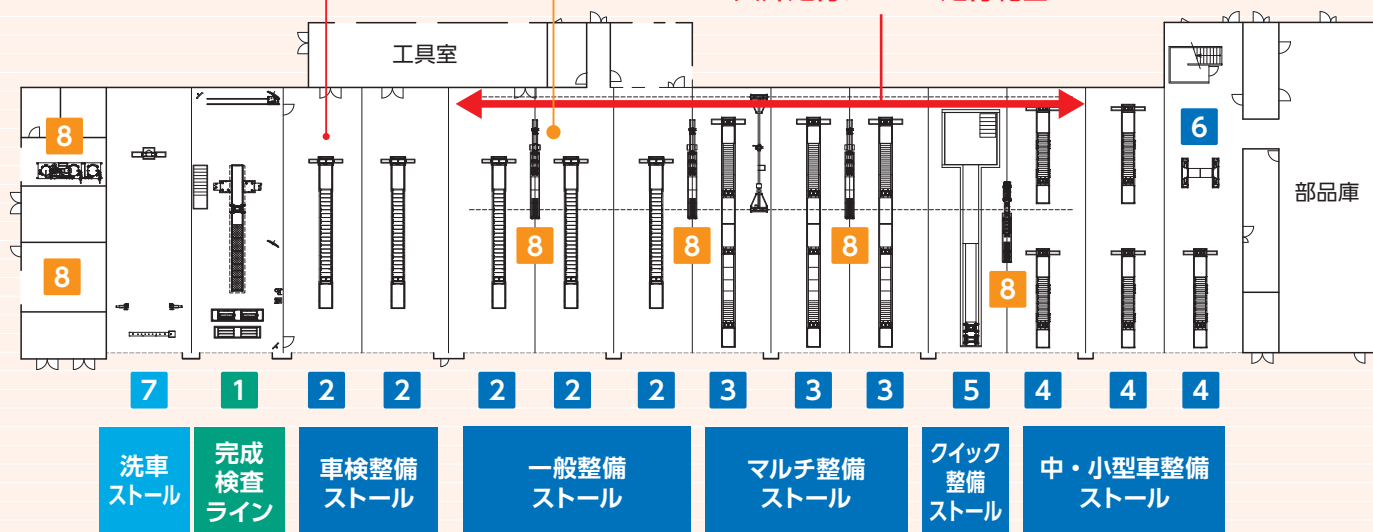


自立式リール架台



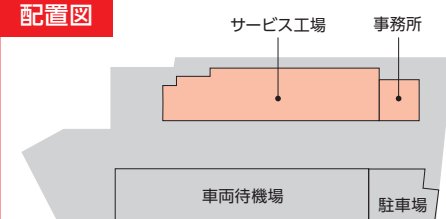
このページに
掲載している
機器のカタログを
ご覧いただけます

天井走行クレーン走行範囲



- 1 完成検査ライン（ラインマスター＋カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター＋フラットBSテスター＋サイドスリップテスター＋フリーローラー＋車検ライン用フロアリフト＋ピットリフト＋ピット落下防止パネル＋荷重試験機）
- 2 ツインパワーリフト（TWPF30N）×5基、転落防止システム アクロバット（懸垂型ワイヤータイプ）×1基
- 3 4柱式ツインパワーリフト（TWPF602N）×3基
- 4 ツインパワーリフト（TWPF12）×5基
- 5 3分割フロアリフト×1基、1柱式電動ピットリフト×1基、2柱式電動ピットリフト×1基
- 6 アルネオリフト（NNZ40WP）×1基
- 7 サイド洗浄ユニット×1基、下部洗浄装置×1基、洗車対応テストリフト×1基、高圧温水洗浄機×4基
- 8 自立式リール架台×4基、天井走行クレーン×1基、MVシステム×1基、排水処理装置×1基

配置図



営業担当者のココがポイント！

今回の主なポイントは3点です。まず、MVシステムの導入により、各ストールでブレーキダストなどの集塵が可能となり、掃除機の持ち運びや保管スペースが不要なため、作業効率の向上と省スペース化を実現しました。

次に、下部洗浄・サイド洗浄装置の導入により、ダンプ車など汚れの多い車両の下回りを洗浄することで、その後のスチーム洗車作業の負担軽減や工数削減につながります。

さらに、自立式リール架台の導入により、クレーン

の稼働範囲が大幅に拡大したこと、また3分割フロアリフトや4柱式ツインパワーリフトの導入により、相乗効果としてエンジン交換作業やミッション交換時の作業効率向上につながっております。

以上のようなポイントが設計段階で討議され導入に至りました。

今後もお客様の安全で快適な作業環境確保やアフターサービスの拡充による安心な整備環境を維持できるよう努めてまいります。



左：水戸営業所 石川 右：センター長 岡本様



▲連結状態のトラクター＆トレーラーや中・小型トラックの2台同時整備も可能な「4柱式ツインパワーリフト」



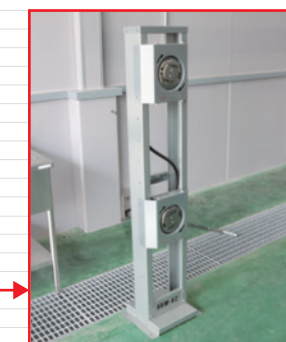
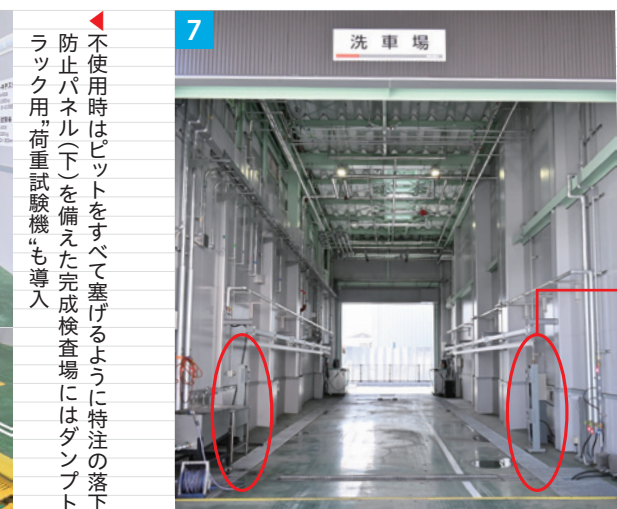
▲「3分割フロアリフト」はクイック整備からパワートレインやシャシの重整備まで立ち姿勢のまま安全かつ高効率に作業可能



▲乗用車向け「アルネオリフト」はメカニックのクルマに対する興味喚起の位置付けも



▲「2柱式ツインパワーリフト」は能力12tの中・小型車向け（左）、能力30tの大型車向け（右）ともに車検整備を中心に活用



◀◀「下部洗浄装置」や「サイド洗浄ユニット（右）」で車両をきめ細かく洗浄、予防整備にも寄与



▲「自立式リール架台」を導入し天井クレーンの走行範囲を拡大、美観向上にも



▲工場内のダスト・廃油を「MVシステム」で集中吸引。省力化・美観に貢献





SDGsの取り組みを
強化している
店舗のご紹介

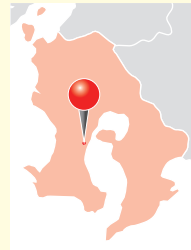
トヨタカローラ鹿児島株式会社 オレンジテラス東開 (POLDER Terrace)

洗車をくつろぎの場に変える複合型店舗が
洗車排水リサイクルシステムを導入し、
洗車サービスの持続可能性を向上



店舗情報

トヨタカローラ
鹿児島株式会社
オレンジテラス東開
(POLDER Terrace)
鹿児島県鹿児島市
東開町5-40
TEL：099-814-7866
従業員：23名



今回お話を伺った方



店長
小倉 覚 様



総合物流部門推進部
キーパー事業推進室
室長
高原 敏国 様

■ 鹿児島の洗車時間を変えた複合施設

トヨタカローラ鹿児島株式会社が展開する「POLDER Terrace(ポルダーテラス)」はカローラ店とダイハツ店の複合店舗に加え、市内の人気ベーカリーが展開する「danken COFFEE」で構成するモール型複合施設です。

桜島からあがる噴煙による降灰で、鹿児島市民にとっての洗車は日常のルーティン。その洗車を楽しい時間に変えたのが「POLDER Terrace」です。

くつろぎを提供するために、洗車は専任スタッフが行います。洗車の待ち時間を店内で過ごすことができ、2019年9月の開業以来、多くのユーザーに親しまれています。

■ カーライフに寄り添う多様なメニューを提供

洗車は4種類のコースを設定するとともに、オプションではコーティングや虫取り、純水による仕上げ、そして室内清掃などをラインナップ。料金設定では回数券や定額サービス「polsc(ポルスク)」によるお得な料金に加え、アプリの利用による割引を設定し、ユーザーのカーライフに応じて選べる多様なニーズに応えています。

月間の洗車入庫数は平均約1,500台。休日の洗車待ちの車列はおなじみの光景です。平日も女性ユーザーがひっきりなしに訪れ、ユーザーが途切れることはありません。

高原室長は「洗車やコーティングでお客様に寄り添うことで、『POLDER Terrace』の各店舗、ひいてはトヨタカローラ鹿児島店のファンになっていただけていると考えています」と語ります。

■ 社会課題解決に取り組むエコアクションプロジェクト

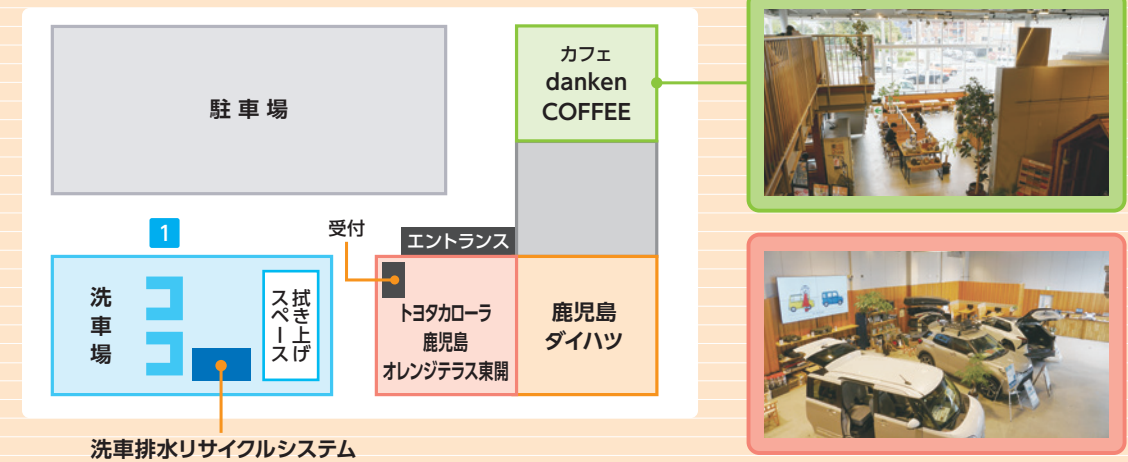
社会課題の解決をする取り組みとしてEco Actionと称する自然環境に配慮した地域共生のプロジェクトを推進。建屋屋上に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの導入、洗車機に洗車排水のリサイクルシステムを採用するなど、SDGsアクションを積極的に行ってきました。また2025年にはカーボンニュートラルに不可欠なBEV用の急速充電器を設置するとともに、洗車排水のリサイクルシステムを刷新しました。

■ バイオリサイクルで洗車排水を再生

今回、リニューアルした洗車排水リサイクルシステムは、微生物によるバイオリサイクル方式を採用した、同社オリジナルの洗車排水再生装置です。油水分離層を含めて4層に渡る再生水生成のプロセスで構成するシステムは、生物曝気槽において微生物による汚泥処理を行うことで洗車の再利用水として使用。水質改善とリサイクルの水量増を実現しました。運用を重ねることで再生の精度を上げており、小倉店長は「再生水が増えることで、上水の使用量は減っており、環境保全、コスト削減の効果があがっています」と手応えを実感されている様子。

トヨタカローラ鹿児島が取り組む洗車サービスと複合型店舗の融合は、ユーザーとの接点づくりとして機能する新たな店舗形態のベンチマークとなるでしょう。

POLDER Terrace 店舗レイアウト



▲ドライブスルー型の洗車棟

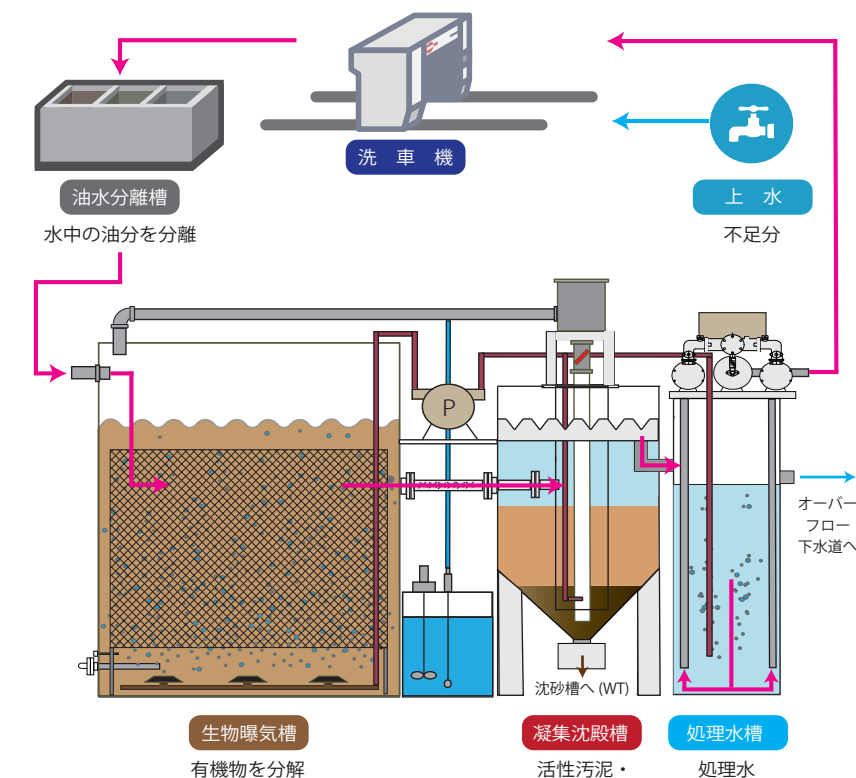


▲門型洗車機「アヴァンテ」を2基設備



▲洗車のプロによる手洗い作業

11 12 14 洗車排水リサイクルシステム(バイオ型) フロー



▲洗車排水リサイクルシステム

営業担当者のココがポイント！

本システムの導入にあたり、調査から導入まで約6年を要しました。長期間にわたり、システムの調整や改良にご協力いただいたカローラ鹿児島様に心より感謝申し上げます。また、この導入に携わる中で、私たちの身近にある「水資源」の大切さと、再利用の必要性や難しさを深く学ばせていただきました。今後も、カローラ鹿児島様の「水資源の再利用」というお考えに、引き続き協力してまいります。



左：店長 小倉様 中央：室長 高原様
右：南九州営業所 鈴木